

令和5年度 活動報告書

<令和5年度の目標>

- ①活動場所2か所を継続する
- ②保健室で活動するスタッフは1カ所3人体制にする(月12人スタッフで専門職は8人目標)
- ③4か所各拠点に代表者がいる(リーダーや調整役は現地にいるが代表者を設置したい)
- ④保健室のことを知ってもらい、協力者や応援者が増える

<結果>

- ①八代市本町と坂本町にて2か所で保健室を月に1回継続できた(1回は休み)
- ②利用者は八代市2ヶ所で1年間で265人利用 個別訪問は4人 健康教室は8回実施し、イベントは4回行った
- ③活動するささえびとは専門職にて2~3人体制で行うことができ、9人増えた
- ④バースデードネーションを行い65人寄付金あり、伴走支援により活動についてまとめることができた

<成果>

- ・継続し利用をしてきてくれており健康チェックに対する満足度は高い
- ・熊本県地域課題解決プロジューサー人材活用事業採択を受けて、活動を振り返ることができた
- ・合志市と甲佐町で今後地域の保健室を行っていく予定になっている
- ・熊本NHKや熊日日新聞で取り上げてもらい認知度があがった

<課題>

- ・継続的な寄付金や助成金の確保
- ・ささえびとの会員証や同意書を作っておらず、曖昧な状況にある
- ・活動するメンバーは他に仕事をしながらである
- ・医療機関や行政機関との連携方法を具体的にどうしていくかわからない状況である

<令和6年度の目標>

- ・長期的な寄付金確保をするため、マンスリーレポートに挑戦する
- ・事務体制の強化を行い、助成金申請やスポンサーなど寄付金集めを行う
- ・個人情報の取り扱いを検討し、引き続きくらしのノート帳を活用していく
- ・ささえびと向けへの会員証や同意書、研修プログラムを作成する

<その他>

- ・活動拠点4カ所、スタッフ3人体制であれば資金は最低年間90万必要となる
- ・令和4年度は休眠預金事業を採択受けており、任意団体から一般社団法人非営利型へ移行
- ・令和5年3月発行アドミニストレーション学科(熊本県立大学)にてやっちょろ保健室実態調査にて論文発表している